

令和 3年度

# 事業計画書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

社会福祉法人 横手福寿会

〒019-0703 秋田県横手市増田町吉野字梨木塚100-1

## < 目 次 >

1. 社会福祉法人横手福寿会 基本理念	1
2. 法人運営方針	2
3. 法人組織図	3
4. 介護老人保健施設 りんごの里 福寿園	
・ 各部門実施計画	4～8
・ 各種委員会活動方針	8～10
・ 給食・栄養に対する計画	11
・ 年間行事計画	12
・ 年間防災計画	13
・ 事業計画一覧表	14
5. グループホーム ひだまりの家	
・ 実施計画・各種委員会の活動方針	15～16
・ 年間行事計画	17
・ 年間防災計画	18
・ 事業計画一覧表	19
6. グループホーム ひなたの家	
・ 実施計画・各種委員会の活動方針	20～21
・ 年間行事計画	22
・ 年間防災計画	23
・ 事業計画一覧表	24
7. ショートステイ ラ・ボア・ラクテ	
・ 実施計画・各種委員会の活動方針	25～28
・ 給食・栄養に対する計画	29
・ 年間行事計画	30
・ 年間防災計画	31
・ 事業計画一覧表	32
8. りんごの里福寿園居宅介護支援センター、りんごの里福寿園訪問介護センター りんごの里福寿園訪問リハビリセンター、ラ・ボア・ラクテ居宅介護支援センター	
・ 実施計画の活動方針	33
・ 事業計画一覧表	34～36
9. りんごの里くらしのサポートセンター	37

## 社会福祉法人 横手福寿会 基本理念

利用者や家族のニーズに対応し当地域の老人医療福祉の中核的施設を目指し、医療ケアと生活サービスを一体的に提供します。

（ 家族との絆を大切にし、明るく、家族的な雰囲気の中で家庭への復帰を目指して、生きがいをもって生き活きと療養生活が出来るようサービス提供いたします。

利用者の自発的な活動を促すと共に、日常生活能力を維持し回復する為の機能訓練に努めます。

（ 地域や家庭との結びつきを重視し、居宅系サービス（通所リハビリテーション、短期入所等）を積極的に提供いたします。

## 令和3年度 社会福祉法人横手福寿会 運営方針

令和2年度は新型コロナウイルスが世界的な流行となり、法人においても感染予防対策を最優先に取り組んだ一年となりました。3年度においても引き続き感染対策の強化を図るとともに、産休等で複数の事業所で欠員が生じることから人材の確保に努めたいと考えます。

新年度の新卒採用者はPT・OTの2名ですが、介護職員の新卒採用は0名であり、安定した人材の確保はますます困難となってきています。現在は職員採用にあたり人材紹介会社を介して採用となるケースが多くなってきており、そのための紹介費用が高額となっていることから、職員の確保対策の見直しが迫られています。したがって在職中の職員の離職を減らすために各事業所において個人面談を定期的に行い、職員を取り巻く環境の把握をすることで問題があった場合は事前に対処し離職に繋がらないよう努めていきたいと考えます。

感染対策については、昨年度に感染症緊急包括支援給付金という新型コロナウイルス等感染症対策のための給付金があり、体温カメラや自動手洗い装置の取付け、業者の出入りのある備品庫の移動など対策を施しました。幸いなことに各事業所での感染はありませんでしたが、引き続き感染予防に努めていきます。

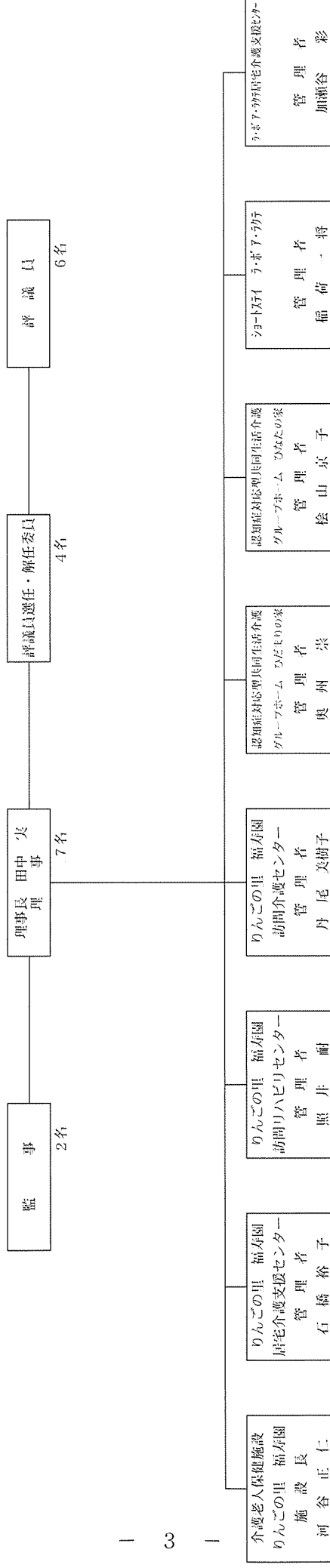
令和3年度は介護報酬の改定が行われ、若干のプラス改定となっています。介護老人保健施設においては、介護給付費の算定が「在宅強化型」へ移行となっており、この体制を維持したいと考えています。他の事業所についても、ご利用者へのサービスの向上を図りながら、新しい加算等への対応をしていきたいと考えます。

社会福祉法人として地域での役割を担い、地域に必要とされる施設、職員においても働きやすい環境作りを実施していきたいと考えます。そして、法人全体の安定した運営を図りながらも、常に介護の原点に立ち、利用者様、ご家族への安心と安全、また地域と共に歩む法人を作り上げていきます。

社会福祉法人 横手福寿会  
理事長 田中 実

# 《 社会福祉法人 横手福寿会 組織図 》

令和 3年 4月 1日付



# 介護老人保健施設 りんごの里 福寿園

## < 各部門実施計画 >

### 「看護部門」

1. 利用者様の疾患や状態を把握し、個々に合わせた看護の実践
  - ①個々の状態把握と対応を共通認識できる体制づくり。
    - ・申し送りに頼ることなく確実な業務ができるようなシステムづくり
    - ・日常の業務の見直しを図る。
  - ②異常の早期対応 緊急時の対応が迅速になされる体制の見直し
2. 感染症予防及び発生時の迅速対応に努める。
3. 薬剤や医療用品、備品の現状を把握し管理及びコスト削減の検討
4. 新型コロナウイルス感染症に留意しながら、利用者様・ご家族様が安心して利用できるようサービスを提供する。

### 「介護部門」

1. 利用者様の尊厳を守り、生活機能の維持・向上に努める
  - ① 入所者様の意思及び人格を尊重し、常に利用者様の立場にたってサービス提供に努める。
    - ・職員や施設の都合で行われてしまう対応の見直しを行う。
    - ・利用者様の自立支援を念頭に置き、食事・入浴・排泄などの日常動作を自力にて行う事での達成感や意欲・生きがいを持っていただく
    - ・ホスピタリティーの心を持ち、利用者様への接し方・言葉遣い・プライバシーに配慮し個人の尊厳を守る。
    - ・要介護者の個別性を尊重し、技術や知識・経験を活かし安心で安楽な介護サービスを提供する。
  - ② 各フロアの特徴を活かした取り組みを実施する。

【3F】在宅復帰や自立支援に特化したフロア作り。在宅復帰者の心身状態の維持向上について、更なる取り組みを行う。

    - ・認知機能、排泄機能、運動機能の3つに観点を置き、入所から退所（在宅復帰）までの状態変化を細かく把握・評価表していく。定期的な在宅復帰カンファレンスを開催しデータを基に、生活課題に対するケアの方針や改善する為の取り組みについて話し合いを進めていく。
    - ・定期的な一時帰宅、在宅リハビリの推進などご家族への協力を促し。ご家族にも現状や介助方法を把握して頂き、在宅意識を持って頂く。また、実際生活する居住空間を使用したりリハビリや、定期的に自宅に帰宅できる機会を設ける。
    - ・個別リハビリの他、介護職員が担当する自主トレプログラム（集中リハ）を退所日まで個別訓練を毎日行い、利用者様の在宅復帰へのモチベーションを維持していく。入所後から退所に向けて、個別訓練の機会をより多く出来るよう、心身の情報共有や収集についてリハビリとの連携を更に強化していく。
    - 【2F】緩和ケアの継続的な実施。心身ともに安定した穏やかな生活が出来る援助。
      - ・タクティールケアの実施。個別対応から痛みや認知症の周辺症状緩和を目的として行う。
      - ・認知症ケアの実践。回想法を取り入れた、昔遊び&工芸をグループワークで実施。
      - ・いきいきプログラムを実践し寝たきりの方々の生活のハリや身体・精神的刺激よっての心身の活性化を促す。
      - ・体験工房などの工芸活動などを行い、生きがいや楽しみを提供しハリを与える。
  - ③ 安全面への配慮、トラブル減少についての取り組み。
    - ・ヒヤリハット報告書を活用し、重大事故に至る前に防止する
    - ・事故発委員を中心としたリスクカンファを実施しトラブルの防止に努める。
    - ・受傷防止を念頭に入れた環境面での配慮。定期的な介護機器の点検。
    - ・情報共有の徹底、注意力・介護技術の向上をし、職員の不注意で起こるトラブルを減少させる。
    - ・感染症についての知識を向上させ、対応策の周知徹底、施設内での蔓延を予防する。

## 2. 介護サービスの向上、人材育成への取り組み強化

- ・介護職員として求められる人材像を明確化して、個々の目指す到達目標を具体的に考え示していく。
- ・知識や技術、対応能力の向上を目的とした施設内研修会の開催。
- ・ブロックやフロアに固執する事無く、広い視野と考えが出来る職員を育成するため、東西またはフロア兼務職員を継続して作っていく。
- ・定期的な業務改善による負担軽減、職場環境の整備。
- ・シルバー人材などの地域資源を活用し、介護職員の介護業務以外の負担を軽減する。

## 3. 高齢者虐待、身体拘束、感染予防の周知徹底

- ・不適切ケアについて全職員へ徹底した再教育を実施する。高齢者虐待委員会・身体拘束廃止委員会をはじめとし、他施設の事例報告など、現状を周知し、どうあるべきか個々に考える場を設ける。
- ・学習会や研修会への積極的に参加を促し、全職員への周知に努める。

# 「リハビリ部門」

## 1. 入所

- ①自主性・意欲を引き出すための集団リハビリテーションを行う。
  - ・安全に配慮した、少人数でも楽しめる活動を提供する。
  - ・活動内容を見直し、一人一人に合った活動を目指す。
- ②自尊心を支え、自信に繋げる生活リハビリテーションを立案する。
  - ・新規入所者様には早期に能力を評価し、介護職員へ申し送る。
  - ・利用者様の状態変化に素早く対応できるよう、積極的に介護場面に入る。
- ③個々の目標や心身機能に合わせた個別リハビリテーションを行う。
  - ・強化型施設の要件である週3回の個別リハビリテーションの実施を継続する。
- ④各専門職の特性を生かし、利用者様への複合的な理解を深める。
  - ・1名の利用者様に対し複数の職種が関わり、方針やプログラムの見直しを定期的に行う。

## 2. 短期入所

- ①自主性・意欲を引き出すための集団リハビリテーションを行う。
  - ・安全に配慮した、少人数でも楽しめる活動を提供する。
  - ・活動内容を見直し、一人一人に合った活動を目指す。
- ②自尊心を支え、自信に繋げる生活リハビリテーションを立案する。
  - ・自宅と施設の環境の差を少なくし、生活動作が維持されるように努める。
- ③希望者に対し個別リハビリテーションを行う。
  - ・ご自宅での生活が継続できるよう、個別の生活スタイルに合わせたリハビリテーションを実施する。
- ④各専門職の特性を生かし、利用者様への複合的な理解を深める。
  - ・1名の利用者様に対し複数の職種が関わり、方針やプログラムの見直しを定期的に行う。

## 3. 通所

- ①利用者様の自主性を引き出すため、移動手段の自立に向けた能力評価と介護職員との情報共有を行う。
- ②短期集中個別リハビリテーション加算の算定を増やせるよう、通所相談員、ケアマネージャーと連携を図る。
- ③家庭や社会の中に役割を持って生活できるよう、「心身機能」に偏らず「活動」「参加」にバランスよくアプローチする。
- ④言語聴覚士による失語症や嚥下障害を持つ利用者様への支援を行う。
- ⑤自己トレーニングの指導や場の提供により自ら健康になろうとする気持ちを支え、自宅での運動習慣を作る。

## 4. 職場環境の整備

- ①各部門（入所・通所）の業務を互いに理解し、積極的に協力・意見を出し合える環境を作るため、担当ローテーションを行う。
- ②体調不良による長期休業を防ぐため、体調に変化を感じた時に相談しやすい・気付きやすい雰囲気作りに努め、早めに対処する。
- ③感染症の発生防止に努め、発生時には蔓延防止とサービス提供を両立できる体制を作る。
- ④研修に参加し、知識・技能の伝達を行うことで職員個々のレベルアップを図る。

## 「介護計画部門」

1. 在宅復帰支援（在宅強化型の継続と超強化型算定に向けた取り組み）
  - ① 老健の役割である在宅復帰支援への理解を頂き、自宅生活を想定した介護の可能性を一緒に考えながら支援する。
  - ② 入所期間を設定した利用を推進。また、入所前訪問指導 100%を目標にして、在宅での状況確認（家族の介護力や自宅環境の確認など）を行い、入所中に在宅復帰後の生活を想定した実用的な支援を行う。
  - ③ 在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価（10項目の指標）の達成及び安定した加算算定ができる取り組みを継続する。  
在宅復帰率の向上。月平均の在宅復帰者平均4人台、ベッド回転率10%台が目標。入所平算を年間80%後半で稼働調整していく。
  - ④ 在宅復帰カンファレンスの開催、復帰前後の自宅訪問等を行い主治医や居宅介護支援事業所、介護サービス事業所等の関連機関との連携を図り、円滑な在宅生活へ結びつけられるように支援する。
2. 安定した利用稼働率の維持
  - ①入所…空床に備えて、入所希望者や予定者への連絡調整と面接及び書類作成依頼を早めに行う。退院による再入所者の受け入れに関しては、病院の医療相談員と連携を図る。
  - ②短期…季節や入所の状況に合わせたSS利用ベッド数を臨機応変に調整していく。年平均SS利用者数を10人台にする調整予定。各居宅介護支援事業所への空室情報の発信、リハビリやレスパイト目的のみならず、緊急時受け入れや医療頻度の高い利用者様の受入れなど幅広いニーズに対して誠実に対応することで信頼を得るよう努める。
3. 他職種、各課との連携
  - ①他職種、各課との連携を密にし、詳細な情報提供及び共有に努めていく。
4. 職員のスキルアップを図る
  - ①介護支援専門員法定研修に加え、地域や外部研修には積極的に参加し、自己研鑽に努める。
5. ケアマネジメント業務
  - ①利用者様、ご家族のニーズを適切に捉え、その有する能力に応じ可能な限り自立した生活を営む事ができるようにケアマネジメントを展開する。
6. 相談及び援助
  - ①サービス利用に留まらず、利用者様やご家族、居宅介護支援事業所等からの総合相談に迅速に対応する。

## 「通所リハビリテーション部門」

1. 利用者様の自立を目指し、生きがいのある生き生きとした生活を送る為に支援する。
  - ①生活の中で、能力を活かして過ごして頂けるようリハビリ課との連携を密にして支援していく。
  - ②他施設にない特色を出し、個々の目標や希望に合わせて対応する。（独自の取り組み、プログラム）
  - ③選択できる小集団活動、工芸や余暇活動等を充実させる（工芸・ゲーム・運動 学習 音楽など）
  - ④利用者自らが自発的に活動を行えるように職員が仲介する
  - ⑤自己選択・自己決定を尊重したケアの実施（施設内通貨も充実させる）
2. ご利用者並びにご家族の満足と達成感を得られる、質の高いサービスを提供する。
  - ①知識・技術・接遇等の外部研修会への積極的な参加、課内学習会の定期開催などにより、職員教育の強化を図る。
  - ②サービス業に従事しているという認識を徹底し、プロとしての役割を理解する。
  - ③職員の質、介護サービスの質、施設の質を向上する様、自己研鑽に努める。
  - ④利用者様のプライバシーを守る。
  - ⑤利用者様の人権を尊重し、かつ親近感の持てる礼儀正しさをもって接する。
  - ⑥利用者様の希望や考えを代弁し家族や関係事業所等へ適切に発信する。
3. 安全・安心に利用していただける環境作りに努め、サービス提供時のトラブル減少に努める。
  - ①安全を第一とした丁寧な送迎を心掛け、車輛事故・送迎時の怪我やトラブルゼロを目指す。



- ②施設内での安全管理を徹底し、転倒事故等の減少に努める。
  - ③利用者様、ご家族様への報告・連絡の徹底。忘れ物や業務ミスを無くす。
  - ④自己管理を徹底し、感染症の持ち込み予防・防止する。
  - ⑤職員間の連携、協力を促進し働きやすい職場環境を実現する。
4. 職員が働きやすい環境を整備する事による離職防止と有能な人材育成に取り組む。
- ①業務の見直しによって職員の事務作業負担を軽減し、残業をしないようにする。
  - ②新人職員へのオリエンテーションに対する適切なフィードバックの実施。
  - ③知識・技術 接遇等の外部研修会への積極的な参加、課内学習会の定期開催などにより、職員教育の強化を図る。
  - ④定期的な個人面談実施。
  - ⑤業務や接遇などの評価を定期的に行い改善する。

## 「施設管理部門」

年間を通じて施設利用者の方々に安心かつ安全に過ごして頂ける様な環境作りを影から支える。

1. 施設経費の状況を把握する。
  - ① 水道の毎日の使用量計測と、1ヶ月の集計を実施し、その根拠を示す。
  - ② 水道、各種電気、燃料の使用量及び金額の前年対比とその分析を継続する。
2. 車輛関係
  - ① 効率よりも安全を基本とし、人身・物損事故のゼロを目指す。
  - ② 定期的な点検を行い、大きな故障等が起きないように管理していく。
  - ③ 施設車輛の更新時期、夏・冬タイヤ等について長期的に考えて運用していく。
3. 設備の保守・作成
  - ① コストに見合った物品の修理及び製作物の選定と実施を継続する。
  - ② 効率的かつ経済的なロードヒーティングの管理をする。
4. 環境整備関係
  - ① 施設内外の清掃に努め、年1回館内のフロアワックス掛けと年2回の全館内外の窓ガラス清掃を実施する。
  - ② 芝生と植栽樹の維持管理を継続する。
  - ③ 常に早めの作業に努め、安全かつ効率的な除雪を実施する。
5. その他
  - ① 業務の効率化を図り、今まで行えなかった箇所の清掃・修繕や車両管理等を行っていく。
  - ② 水道、電気等各種工事の際は、最低でもインフラ面では入居者様に不便をお掛けしない様に作業を進める。
  - ③ 日頃の点検と経験・知識を生かし、時間外の突発的な設備異常の頻度を抑える。

## 「事務管理部門」

1. 職場の環境づくり
  - ①各課・各事業所とのコミュニケーションを円滑に図り、働きやすい環境をつくる。
  - ②職員満足と顧客満足の追求を同時並行して取り組み、業務の効果性と効率性を追求し、全職員のモチベーションを高める為の環境づくりを心掛ける。
  - ③出来る範囲での各現場をフォローする姿勢を心掛ける。
2. 事務業務の共有化と標準化を図る。
  - ①課内全職員が業務内容を共有し、標準化を図る。
  - ②介護保険法、会計基準など各種制度・法律等の理解を深める。
  - ③常に新しい情報に目を向け、社会情勢等必要な知識を得る。
  - ④数字を扱う業務であるため、ミスのないようチェック体制を確立していく。
  - ⑤消耗品費等は管理を十分にし、無駄な購入や消耗を防ぐ。

3. 積極的な広報活動及び人材確保など
  - ①人材確保に向け、求職者向けのホームページを見やすくする。
  - ③秋田県介護サービス事業所認証評価の認定を受ける。

## 「口腔衛生部門」

1. 通所リハビリテーション
  - ① 口腔機能向上加算の実施
  - ② 利用者様への口腔衛生指導
  - ③ 口腔ケアの意識向上や技術向上のための職員への助言
2. 入所
  - ① 口腔衛生管理加算の実施
  - ② 口腔ケア用品の管理
  - ③ 口腔ケアの意識向上や技術向上のための職員への助言
3. グループホーム
  - ① 口腔衛生管理体制加算の実施（月1回各ユニット別訪問）
  - ② 口腔ケアの意識向上や技術向上のための職員への助言
4. ラ・ボア・ラクテ
  - ① りんごの里から、ラ・ボア・ラクテへ月2回の訪問
  - ② 利用者様への口腔衛生指導
  - ③ 口腔ケアの意識向上や技術向上のための職員への助言
5. 関係医療機関との連携を図る。
  - ① 歯科往診の準備と対応
6. その他
  - ① 歯科衛生士のスキルアップの為の各種研修会への参加

## < 各種委員会活動方針 >

### 「行事委員会」

利用者様が楽しめる行事を立案し、気分転換の場を提供する。また、行事を進行するうえで安全に行える様に職員を配置していく。

- ① 年間計画を立て、余裕をもって行事の計画を立てる。
- ② 季節を感じられる行事の立案を行う。
- ③ 行事実施後は、行事当日勤務者より意見を募り、反省を来年度へ活かすよう心掛ける。
- ④ 利用者様の体調を考慮し、各課と連携を取りながら、感染予防も含めた計画をしていく。
- ⑤ 花火など施設全体の利用者様が対象となる行事に関してはポスターなどでお知らせしていく。

### 「給食改善検討委員会」

毎日の食事が楽しく、おいしいものとなるよう季節に応じた食材や献立の提供を行うことができるよう支援を行っていく。また昔からの食べ慣れた味に近いものが提供できるよう検討していく。食べやすい食事形態なども多職種と話し合いを行いながら検討していく。

- ①各専門職が食べやすい食事、食事形態、食べやすい食器等の提案ができ、利用者様がより食事を楽しみに思ってもらえるような支援を行っていく。
- ②嗜好調査を通じて、利用者様が食事に対して何を求めているのかを知り、献立に反映させていく。
- ③個別対応の実施。利用者様一人ひとりの状態に合わせ、各専門職が連携し食事形態、食事内容の検討を行っていく。合わせて栄養ケアマネジメントと連携していく。

## 「家庭介護者教室運営委員会」

家庭で介護にあたっていらっしゃるご家族様の意見や要望、悩みをもとに、役立てて頂けるような情報の提供を行う。

- ① 年に3回の家庭介護者教室の開催
- ② 家庭介護者教室後のアンケート結果や、面会などで頂いた要望に合わせ、多くの方に参加して頂ける内容を検討していく。
- ③ ご家族様同士、また施設職員との意見交換の場を設け、少しでも役立てて頂けるような情報の提供や、実際に抱えている不安を少しでも軽減して頂けるような機会を作る。
- ④ 感染症などの流行により家庭介護者教室が開催できない場合は、教室に興味を持って頂ける様、お便りや資料を作成し、ご家族様に向けて送付する。

## 「環境・サービス向上委員会」

1. 施設内の美化・環境整備に努め、利用者様がより快適に過ごしやすい環境を作る事を目標とする。

また、下記の項目に沿って活動していく。

- ① 2ヶ月に一度、各フロア・居室等の消臭剤の交換
- ② 各フロアからの意見に迅速に対応していく。
- ③ 年2回、職員下駄箱清掃の実施

2. 安心で安全な施設サービスの提供を目的とし、利用者様にとって心地良い環境づくりに努める。

主な取り組みとして、下記の項目に沿って活動する。ケアの向上の為、アンケートをもとにニーズの把握に努めるとともに、接遇マナーの向上等について学習会を実施し、施設全体のサービスの質の向上に取り組む。

- ① ご家族様アンケート調査の実施（入所・通所ご家族様）
- ② 接遇マナー向上の為の学習会の実施
- ③ 所属部署アンケートの実施（職員全体）
- ④ 介護サービス情報公表の調査への対応
- ⑤ 意見箱の設置

## 「褥瘡対策委員会」

褥瘡発生のリスクになる要因を知り、予防用具を適切に使用し、褥瘡予防に努めていく。

- ① 褥瘡予防計画書の作成とそれに基づいてのリスク判定
- ② 褥瘡予防計画書に基づいたリスクに対する予防ケアの実施
- ③ 予防ケア用具の在庫確認と必要時は専門業者へのメンテナンスを依頼し、用具の劣化による褥瘡の発生を防ぐ。
- ④ 定期的な委員会の実施と年に2回の学習会の企画と開催

## 「感染対策委員会」

施設で発生する感染症の防止のために以下の事に取り組んでいきます。

1. 定期的な委員会の開催（毎月 第2月曜日）
  - ① 日常の感染予防策実施の状況の確認と修正
  - ② 感染予防策の実施の有無のチェック
  - ③ 感染予防対策マニュアルの見直しにより当施設における具体的な行動の実施を目指す。
2. 定期的学習会の実施（年2回）
3. 感染症対策について最新の情報を知り早期に対策を検討する。（研修参加等）

## 「高齢者虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会」

施設全体としての身体拘束・高齢者虐待防止に向けた取り組みが出来るよう、委員会からの発信を行っていく。職員一人一人が入居者様の立場に立ち、虐待に繋がりにくいケアを行わないように努める。

- ① 施設職員全体への意識調査を行い、虐待に繋がりにくい事象を確認する。
- ② 意識調査をもとに勉強会を行う。虐待や身体拘束による弊害について意識を高め、日々のケアに反映できるようにする。
- ③ 緊急やむを得ない場合の身体拘束について、定期的にカンファレンスを開催し、決定した方針や介護内容を文章化し、それを指針として取り組んでいく。

## 「事故発生防止委員会」

1. 施設内における介護、医療事故の防止。各課の専門性を発揮し、安全で安心出来る日常生活を営める様に配慮すると共に住環境を整備していく。
  - ①定期的な会議（月1回）の開催及び、委員長の判断による臨時会議の開催。
    - ・各課より毎月の事故、ヒヤリ事例報告。
    - ・再発防止策の検討、実施後の評価。各課への周知連携の調整。
    - ・リスクカンファレンスの実施。ショートステイ利用者・通所利用者を中心にリスクの情報共有を行っていく。
  - ②事故発生防止に関する研修会の実施
    - ・他施設での事例報告、ワーク（演習）を中心とした学習会
    - ・新規採用者には新人研修内にて事故発生に関して実施。
  - ③各課でのトラブル防止活動の実施
    - ・施設内、介護機器（ベッド、車椅子、浴室機器など）の定期的な点検調査。
    - ・新規ご利用者、入所後、短期間でのリスク見直し、周知活動
    - ・各職員へのひやりハット報告の記入促し
2. 必要に応じて『紛争対応チーム』を発足する。
  - ①管理者の命を受け、調査・審議し、対応策を検討すると共に実際の紛争対応を行う。
    - ・紛争対応チームの調査、審議の結果、紛争対応結果については管理者に報告する。
  - ②紛争対応チームは紛争が発生した場合または発生する可能性がある場合は、次の事項を実行する
    - ・状況の把握及び情報収集に関すること（事故調査）
    - ・対応方法の検討
    - ・入居者及び入居者家族等の直接対応
    - ・その他介護・医療紛争に関すること
    - ・マスコミ対応。

## 「安全衛生委員会」

1. 労働災害防止に関する職員の知識向上をはかる
  - ①腰痛予防対策の実施。
    - ・資料配布、学習会・講習会の開催（外部講師を依頼）
    - ・実技を交えた予防策（各課の取組）
  - ②メンタルヘルス不調予防。
    - ・メンタルヘルスセミナー研修への参加、各職員への資料配布（外部講師を依頼）
    - ・アンケート、チェックリストを活用した施設職員の現状把握。
  - ③各部署の安全衛生状況チェックリストの実施
    - ・月1回安全衛生状況の確認を実施。必要時は見回り検査を行う。

## 「防災委員会」

1. 非常災害時に対する準備、防災知識の向上を図る。
  - ① 年2回の非常災害時安否確認メール訓練を実施する。
  - ② 定期的な非常用物品の点検及び整理を行なう。
  - ③ 消防設備、機器の把握と使用手順の周知徹底をする。
  - ④ 全職員の避難訓練の参加により、火災発生時の対応を体得する。
  - ⑤ 年間防災計画に基づいた各種点検、訓練を実施する。
  - ⑥ 学習会や掲示物、情報提供等により、職員に防災意識の啓蒙を図る。
  - ⑦ 一番身近に起こりやすい、停電時の対応手順書を作成する。

## 給食・栄養に対する計画

- ※ 栄養指導・・・随時行なう。
- ※ 給食委員会・・・月1回
- ※ 嗜好調査・・・年1回
- ※ 残食調査・・・毎食行ない、記録し、献立に反映させていく。

## 行事食

- 5月・・・端午の節句
  - 7月・・・七夕 土用の丑の日
  - 8月・・・お盆 納涼祭
  - 9月・・・敬老の日 秋分の日
  - 10月・・・十五夜
  - 11月・・・芋の子汁
  - 12月・・・クリスマス 餅つき 年越し
  - 1月・・・正月おせち料理 七草粥 鏡開き
  - 2月・・・節分 バレンタインデー きりたんぼ鍋
  - 3月・・・桃の節句 春分の日
- ※ 誕生者には誕生日当日に誕生日御膳を提供する。
  - ※ セレクト食は行事食に合わせて計画し、実施する。
  - ※ 通所：昼食バイキング・おやつバイキングは交互に毎月実施する。
  - ※ 2F：おやつバイキング・茶話会は交互に毎月実施する。
  - ※ 寿司の提供は年2回を予定。

## 年間行事計画

	行 事 名		行 事 名
4月	観桜会	10月	紅葉見学
5月	芝桜見学(外食行事)	11月	行事委員劇披露
6月	あやめ見学	12月	もちつき大会
7月	慰問	1月	新年会
8月	納涼祭	2月	節分行事
9月	外食・買い物	3月	歌合戦(各フロア職員にて)

## 年間防災計画

月	内 容
4月	防災自主点検 月1回
5月	防災自主点検 月1回
6月	防災自主点検 月1回 避難訓練（日中訓練）
7月	防災自主点検 月1回
8月	防災自主点検 月1回
9月	防災自主点検 月1回 メンテナンス（消防用設備保守点検）外観機能
10月	防災自主点検 月1回 避難訓練（夜間想定訓練）
11月	防災自主点検 月1回
12月	防災自主点検 月1回
1月	防災自主点検 月1回
2月	防災自主点検 月1回
3月	防災自主点検 月1回 メンテナンス（消防用設備保守点検）総合外観機能

介護老人保健施設 りんごの里 福寿園 「令和3年度年間事業計画表」

研修・避難訓練・行事予定一覧表

研修名・場所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
				福祉保健施設・事業 者等職員新任研 修	秋田市	認知症介護実践者 研修	秋田市	指導者研修	秋田市	福祉保健施設・事 業者等職員中堅研 修	秋田市	秋田県介護老人保 健施設職員交流会	秋田市
			介護記録の正しい 書き方セミナー	秋田市	研修担当職員研修	秋田市	介護従事者まや りアップ研修	秋田市				福祉保健施設・事 業者等職員中堅研 修	秋田市
												認知症介護実践者 研修	秋田市
避難訓練													
年間行事予定						避難訓練（昼間想定）（消防署協力）							
	観桜会			芝桜見学		あやめ見学		慰問等					納涼祭
													外食・買い物

研修名・場所	10月		11月		12月		1月		2月		3月			
				指導者研修	秋田市						社会福祉施設等 人材確保セミナー	秋田市	遊びり セッション 研修	秋田市
			ターミナルケア研 修会	秋田市									介護従事者講座	秋田市
			第30回全国介護老 人保健施設大会	大分県										
避難訓練（夜間想定）（消防署協力）														
年間行事予定														
	観桜会			行事委員勉強会		もちつき大会		新年会					節分行事	
														歌合戦



# グループホーム ひだまりの家

## <実施計画>

1. ひだまりの家の理念に基づき、入居者やご家族にとってより良い生活が送れるようにサービス提供を行います。
  - ①理念に立ち返る機会を多く持ち、職員皆がその理解を深められるように努めます。
  - ②満足度調査を実施し入居者様の小さなニーズの把握に努めます。
  - ③新型コロナウイルス感染症に留意しながら、利用者様・ご家族様が安心して利用できるようなサービスを提供する。感染症の流行状況を十分に考慮しつつ地域へ出向いていく機会を多く持ち、地域の一員として生活できるように努めます。
2. サービスの質の評価と管理を行いケアの質の向上に努めます。
  - ①自己評価を実施し、自らのケアを振り返る機会を持ちます。
  - ②他己評価を実施し、他者からの視点で自らのケアを振り返る機会を持ちます。
  - ③目標の評価を行い、サービスの向上につなげます。
3. 各職員がレベルアップできる環境作りを行います。
  - ①内外の研修に参加し、知識・技術の向上を図り自己研鑽に努めます。認知症実践者研修に1名は派遣できるように調整します。
  - ②職員はユニットに拘らず全ての入居者様・業務内容を理解できるように取り組んでいきます。
  - ③学習会は全員が関われる実施方法で行います。

## <各種委員会の活動方針>

### 「食事・厚生委員会」

1. 食事作り
  - ①入居者様と一緒に食事作りを行うことで有用感を感じていただく。
  - ②季節を感じてられるように、その季節の旬な食材を用いた食事作りを行う。
  - ③塩分と糖분을配慮した食事の提供をする。
2. 外食の機会を設け気分転換を図る
3. 食事作りの際に以下の事に注意して行う
  - ①とりかかる前には手洗いをする。
  - ②肉や魚を使用する際は手袋を使用し、しっかり加熱する。
4. 行事を通じてユニット間の入居者様・職員の交流を図る

### 「企画委員会」

1. 入居者様に喜んで頂ける、また、ご家族様にも参加して頂ける年間行事を計画し、満足度向上を目指します。
2. 地域の方々に歌や踊りを披露して頂く鑑賞会を計画し、交流を活発にしていきます。
3. 地域行事への参加、クリーンアップ等の奉仕活動を通じ、入居者様の生きがい、やりがいを感じて頂ける場を提供します。
4. 個別のニーズに添えるよう、職員間の情報交換、連携を図ります。
5. 入居者様の好みを把握し日常のレクリエーションを充実させるとともに、認知症の進行予防、自立支援に努めます。

### 「環境美化委員会」

1. 緑化の強化  
プランターの花の植え付け、水やり
  - ①玄関まわりにプランターを用意し、長期に渡って関われる花を植え入居者様に水やり等の管理を依頼していく。
  - ②生け花を2か月に1回実施する。
2. 土に親しむ
  - ①種類を絞って農作物の栽培を行う。
  - ②散歩のついでに収穫できる作物を栽培する。(車椅子の入居者様も収穫できる作物を考え、手前に植える)
  - ③野菜の手入れや草むしりを入居者に依頼していく。
3. 募金活動  
収穫した野菜を販売しその売上金を募金することで、地域貢献の一つとしました入居者様に有用感を感じていただく。

#### 「業務改善・研修委員会」

1. 「ヒヤリハット」を活用できるように全職員が記録しやすいようにする。また、対応策を記入する欄も設け事故防止に繋げる。
2. ユニット合同の行事を増やし、入居者様との交流を図る。
3. 職員より学びたいことを募り、研修計画へ反映。
4. 複数の職員が両ユニットの業務を行えるように勤務交換を行っていく。

#### 「広報・介護機器検討委員会」

1. 「あがってたんせ」のスケジュール通りに発行していく。
2. 「ひだまり通信」の写真撮影を居室担当が中心になって依頼、声掛けを行う。
3. 行事だけでなく普段の入居者様の写真を撮るように心がける。
4. 介護機器の定期的な点検を行い、安全に利用できるようにする。

#### 「感染対策委員会」

1. 入居者様の安全性の為、感染対策に努める。
  - ①うがい、手洗い等の基本的な感染予防対策を徹底する。
  - ②近隣地域にて特定の感染症が流行している場合は外部からの業者の入室や面会を制限させていただく。予防の対応を早急に行う。
  - ③受診時はマスクの着用、又人込みの多い所へ外出は控える。
  - ④職員は常に体調管理を行い早めの受診で対応する。
2. ひだまりの家で実施できる感染対策に努める。
  - ①毎日の手洗い、うがい、消毒の励行。【1 処置・1 手洗い】の確実な実施。
  - ②学習会を通して感染症に対する理解を深めていく。

#### 「計画作成担当委員会」

1. 入居者様の心身の状況に合わせ、自立を支援するための具体的な目標を設定したケアプランを作成します。
2. 入居者様が「私らしく、安らかに、生き活きと」暮らしていけるケアプランを作成します。
3. 入居者様が、より良く暮らしていただくための課題とケアを見極め、個々を尊重したより個別性のあるケアプランを作成します。
4. 入居者様の暮らしの困難や可能性、そしてご希望を把握しケアプランを作成します。
5. 入居者様本人が、より充実した生活を送れるように、長期的および短期的な目標を設定します。
6. 入居者様本位の計画がされるよう、ケアプランの修正および改善を行なっていきます。
7. 施設職員だけでなく、家族や多くの社会資源を活用したケアプランを作成します。

#### 「高齢者虐待防止委員会」

1. 学習会を開催し虐待についての理解を深め、その防止に努めます。
2. 職員に虐待についてのアンケートを実施し、その結果を全員で共有し適切な対応が取れているのかを確認する機会を設けます。

#### 「事故発生防止委員会」

1. 学習会で危険予知トレーニングも行い、職員側からの危険と入居者様側からの行動の意味を職員同士で話し合う機会を作る。
2. 事故発生時はカンファレンスを実施し原因とその対応策を検討する。また対応策の実施状況や改善点などを再検討する機会を設けていく。
3. 職員全てが入居者様個々の能力やリスクを共通認識として理解できるように働きかけていく。

#### 「身体拘束廃止委員会」

1. 身体拘束廃止についての学習会を開催します。
2. 学習会を通じ、身体拘束の実態の把握や身体拘束がもたらす多くの弊害等を確認し、問題意識の共有を図ります。
3. 入居者様の尊厳と主体性を尊重し、職員全体が身体拘束廃止に向けた意識を持つことで、不適切なケアの廃止に努めます。

年間行事計画

	行 事 名		行 事 名
4月	観 桜 会	10月	芋 煮 会
5月		11月	紅葉見学
6月	バーベキュー	12月	クリスマス会 餅つき
7月	あやめ見学 七夕見学	1月	新 年 会
8月	夏祭り参加 お盆行事	2月	節分行事 冬祭り見学
9月	敬 老 会 さんま焼き	3月	ひな祭り行事

## 年間防災計画

月	内 容
4月	防災自主点検 月1回
5月	防災自主点検 月1回
6月	防災自主点検 月1回 避難訓練（日中想定訓練） メンテナンス（消防用設備保守点検） 外観機能
7月	防災自主点検 月1回
8月	防災自主点検 月1回
9月	防災自主点検 月1回
10月	防災自主点検 月1回 避難訓練（夜間想定訓練） メンテナンス（消防用設備保守点検） 総合外観機能
11月	防災自主点検 月1回
12月	防災自主点検 月1回
1月	防災自主点検 月1回
2月	防災自主点検 月1回
3月	防災自主点検 月1回

グループホーム ひだまりの家 「令和3年度年間事業計画表」

研修・避難訓練・行事予定一覧表

研修名・場所	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	グループホーム 情報交換会	横手市	グループホーム		認知症介護実践者研修	秋田市	グループホーム 情報交換会	横手市	認知症介護実践者研修	秋田市	グループホーム	
その他												
避難訓練	運営推進会議	ひだまりの家			運営推進会議	ひだまりの家						
年間行事予定					避難訓練(昼間想定) [消防署協力]							
	観桜会		観桜会		ハーベキュー		あやめ見学 七夕行事		夏祭り参加 お盆行事			敬老会 さんま焼き

研修名・場所	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
			グループホーム 情報交換会	横手市					グループホーム 情報交換会	横手市		
その他												
避難訓練	運営推進会議	ひだまりの家			運営推進会議	ひだまりの家						
年間行事予定	卒業会				クリスマス会 餅つき		正月行事 新年会		前分行事 冬祭り見学			ひな祭り行事
	避難訓練(夜間想定) [消防署協力]		紅葉見学									

# グループホーム ひなたの家

## ＜実施計画＞

1. ひなたの家の理念に基づく介護の実践
  - ①ひなたの家の理念の共有、浸透を図り、日頃のケアに反映できるよう努める。
  - ②一人ひとりの意向に沿い、理念に基づきその実現につなげる。
  - ③新型コロナウイルス感染症に留意しながら、利用者様・ご家族様が安心して利用できるようサービスを提供する。
2. 職員個々の知識、技術、資質の向上を目指す。
  - ①個人の年間目標を設定、自己評価を行い個々のレベルアップを目指す。
  - ②内外の研修の機会を確保し、自己研鑽につなげる。
3. 入居者様本位の介護の実践に努める。
  - ①日ごろのケアを点検し、尊厳のあるケアの実践につなげる。
  - ②介護の基本を実行し、個々に応じた丁寧な対応に努める。
  - ③入居者様が安心して過ごせるよう、不適切ケアがないか毎月チェックを行い、対応の改善に取り組む。

## ＜各種委員会の活動方針＞

### 「事故発生防止委員会」

1. 事故を未然に防止できるように働きかけを行っていく。
  - ①毎月ひやりはっと及び事故件数の集計を行い、その内容を周知し、予防に努める。
  - ②勉強会を開催し、事故についての事例検討を行い、事故発生防止につなげる。
  - ③小さいことでもひやりはっと報告書を積極的にあげてもらい、周知に努めるようにする。
  - ④事故等の原因及び対応策について職員同士の申し送りを確実に行う。
2. 発生した事故の対応策の徹底を図る。
  - ①ひなた会議で、事故やひやりはっとの原因や対応策の再確認を行い、再発防止に努める。
  - ②事故発生後、対応策が実施されているか点検を行う。

### 「食事委員会」

1. 安全でおいしく、また楽しんで食べていただけるような食事提供を行う。
  - ①食事形態は入居者様の状態に応じた食事提供を行う。
  - ②入居者様のできる力を活かすため一品でも入居者様と一緒に献立を考える機会を作る。
  - ③入居者様が使用する食器用具について劣化が見られた時は、早めの購入につなげる。
  - ④季節を感じられるような献立、食材選びを行う。
2. 経費節減について
  - ①消費期限を確認して日付けの早いものを先に使用するよう努める。
  - ②日頃より、費用対効果を考慮しながら食事作りを行う。
3. 特別な日の食事提供について
  - ①行事食は、行事の内容に合わせた食事を提供、楽しみながら食事をする機会を作る。
  - ②誕生会では、当事者である入居者様の好みに応じた食事提供を行う。

### 「行事委員会」

1. 行事内容の企画、開催、まとめをスムーズに行う。
  - ①実施内容をファイルにまとめ、申し送りが確実にできるようにする。
  - ②担当者が責任を持って行事を行えるようにする。
  - ③担当者への周知を早めに行うとともに進捗状況の確認を行う。
  - ④室内の活動、食事行事の充実を図る。(コロナ禍)
  - ⑤従来の行事内容の見直しを行う。

## 「計画作成担当委員会」

1. 入居者様一人一人に合ったきめ細かいプランを作成する。
  - ①入居者様、ご家族の要望を反映させたケアプランを作成する。
  - ②プランの内容の浸透を図り、確実に実行できるよう働きかける。
  - ③状態に合わせて、随時プランの見直しを行う。
  - ④地域資源を活用し、入居者様の QOL を高められるようなプランの作成を行う。
  - ⑤入居者様一人一人についてより多くの情報を収集し、適切な支援方法について十分な検討を行い、きめ細かいプランの作成に努める。

## 「広報委員会」

1. 認知症についての知識やひなたの家の取り組みや行事について理解を深められるような内容とする。
2. 認知症について地域の方々が関心をもって下さるような紙面づくりを行っていく。

## 「感染対策委員会」

1. 感染症に関する知識を深め、予防対策について周知徹底し、感染防止に努めていく。
  - ①手洗い、消毒、うがい、咳エチケット、マスク着用等を徹底する。
  - ②1 ケア 1 手洗い 1 消毒の実践
  - ③勉強会を開催し、感染症についての知識及び予防、発生した場合の対応等を学ぶ機会を作る。
  - ④人の集まる場所(居室、フロア、介護者室)の換気を行う。

## 「環境美化委員会」

1. 掃除の徹底
  - ①毎日の清掃について  
居室清掃及び清掃箇所はリネン交換時に行う。
    - ・なるべく入居者様と一緒に掃除を行う。
    - ・フロアの掃除機かけを毎日行う。
    - ・なるべく入居者様と一緒に掃除を行う。(個々に合った作業を行っていただく)
    - ・二ヶ月に一回はタンスの裏も清掃を行う。
  - ②コンセント清掃を年二回(6月・12月)に行う。
  - ③大掃除(8月・12月)
    - ・チェックシートを作成し、掃除箇所がもれなく行えるようにする。
  - ④週一回火曜日は日勤者が冷蔵庫掃除を行う。
2. 緑化の強化(入居者様の笑顔を増やす)
  - ①野菜や花の苗の植え方や水やりなどを入居者様と一緒にやる。
  - ②野菜の収穫を入居者様と一緒にやり、収穫の喜びを共有する。
  - ③野菜や花の成長の観察を入居者様と一緒にやる。
3. 家庭的な雰囲気づくりに努める。
  - ①季節に応じた装飾を行う。(季節に合うクラフト制作)
  - ②余暇活動時にクラフト制作、書道等を行い、室内に装飾し家庭的な雰囲気を作っていく。
  - ③居室内を各担当職員が整理、整頓に努め、居心地が良い環境作りに心掛ける。

## 「身体拘束廃止委員会」

- 身体拘束廃止について理解を深め、身体拘束をしない介護を実践する。
1. 「不適切なケア」を防止し、身体拘束や虐待が発生しないよう努める。
    - ①適切なケアについての意識の統一を図り、不適切ケアの排除に努める。
      - ・日頃のケアについて、不適切なケアがないか各自毎月チェックを行う。
      - ・できていない項目については翌月の重点項目として取り組む。
      - ・毎月集計を行い、チェックが多い項目については会議で取り上げ、対応を検討する。
      - ・「不適切なケア」が発生したら、「適切なケア」について全員の意見を募り対応の
    - ②勉強会を開催し「身体拘束廃止」について学ぶ機会を作り、その内容を周知する。
    - ③委員会を3ヶ月に一回以上開催し、次のことについて検討し、その内容を周知する。
      - ・マニュアルの見直し
      - ・勉強会の内容の検討
      - ・研修会への参加の検討
      - ・身体拘束につながる対応がないか、尊厳のあるケアが行われているか日常的ケアを確認する。

年間行事計画

	行 事 名		行 事 名
4月	観 桜 会	10月	芋 煮 会
5月		11月	紅葉、菊まつり見学
6月	バーベキュー	12月	クリスマス会 餅つき
7月	あやめ見学	1月	新年会
8月	夏祭り参加 お盆行事	2月	節分行事
9月	敬 老 会	3月	ひな祭り行事



## 年間防災計画

月	内 容
4月	防災自主点検 月1回
5月	防災自主点検 月1回
6月	防災自主点検 月1回 避難訓練（日中想定訓練） メンテナンス（消防用設備保守点検） 外観機能
7月	防災自主点検 月1回
8月	防災自主点検 月1回
9月	防災自主点検 月1回
10月	防災自主点検 月1回 避難訓練（夜間想定訓練） メンテナンス（消防用設備保守点検） 総合外観機能
11月	防災自主点検 月1回
12月	防災自主点検 月1回
1月	防災自主点検 月1回
2月	防災自主点検 月1回
3月	防災自主点検 月1回

グループホーム ひなたの家

「令和3年度年間事業計画表」

研修・避難訓練・行事予定一覧表

研修名・場所	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		横手市グループホーム 情報交換会	横手市	認知症介護実践者 研修	秋田市	認知症介護実践者 研修	秋田市	認知症介護実践者 研修	秋田市		横手市グループホーム 情報交換会	横手市
その他					運営推進会議	ひなたの家				運営推進会議	ひなたの家	
避難訓練 年間行事予定						避難訓練(昼間想定) (消防署協力)						
	観桜会		観桜会		バーベキュー		あやめ見学		夏祭り			敬老会

研修名・場所	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		運営推進会議 <th>ひなたの家 <th> <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th></th></th></th></th></th>	ひなたの家 <th> <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th></th></th></th></th>	<th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th></th></th></th>	横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th></th></th>	横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th></th>	横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th></th>	横手市 <th>横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th></th>	横手市グループホーム 情報交換会 <th>横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th></th>	横手市 <th> <th>ひなたの家 </th></th>	<th>ひなたの家 </th>	ひなたの家
その他												
避難訓練 年間行事予定												
	卒業会		紅葉、菊まつり見学		クリスマス会 餅つき		新年会		節分行事			ひな祭り行事

# ショートステイ ラ・ボア・ラクテ

## < 実施計画 >

1. 地域包括ケアシステム構築に向けショートステイ機能の役割を果たす。

- ①介護保険制度の趣旨に沿って、利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者様の心身の機能維持・向上並びにご家族様の身体的及び精神的負担軽減を推進する。
- ②各関係機関との連携・情報交換、地域ケア会議への出席、家庭介護者教室等の開催により、地域が求めるニーズを把握しながら共に解決できるよう、地域に開けた施設を構築する。
- ③中重度の要介護者・認知症高齢者の方々が、住み慣れた地域や自宅で自分らしい生活を最期まで続けられるようにサービス提供をする。
- ④新型コロナウイルス感染症に留意しながら、利用者様・ご家族様が安心して利用できるようサービスを提供する。

2. 人材育成を行いながら職員が定着・キャリアアップできる職場づくりをする。

- ①職員一人一人が明確なビジョン・目標を持ちながら成長できる職場にする。
- ②常に自己研鑽を図り、習得した知識や能力を現場で実践できるようにする。
- ③技能チェックリスト等を実施しながら人材育成・キャリアアップできるシステムを構築する。
- ④職員一人一人が能力を発揮できる職場作りをする事で効果的なサービス提供を推進する。
- ⑤やりがいやモチベーションを維持できる職場環境を構築し、職員の離職防止を推進する。

3. 利用者様一人一人がその人らしく過ごせる場を提供する。

- ①利用者様やご家族様が求めるニーズを的確に把握し、尊厳が守られた生活が送れるようにする。
- ②利用者様の生活状況・心身状況を把握し、的確に介入することで統一した支援が提供できるよう他職種が共同参画する。
- ③リハビリテーション、レクリエーション活動、個別ケアを強化し、利用者様が自分らしく生活出来るよう支援することで生きがいを見いだせるようにする。
- ④建物設備等を清潔・空調・利便性・安全性の視点から保守・点検に努め、快適な生活環境を提供する。

4. 施設全体でコスト意識を高く持ち経費削減を推進する取り組みを実施する。

- ①取引業者の精査を行い計画的な変動費の管理を行う。また、既存の業務委託契約等に伴う固定費を含め施設全体の支出を削減する。
- ②経費の発生時には品質・機能・サービス内容等、コストパフォーマンスを十分考える。同時に経費削減に伴うモラルダウンに十分配慮し検討・実施する。
- ③電気・ガス・水道の使用量管理を徹底し、使用量削減に向けた取り組みを啓発することで水道光熱費を削減する。
- ④職員一人一人のコスト意識を高め、経営の安定化を図るため、年1回の研修会を実施する。

5. 防災意識の向上と防災対策の充実化を推進する。

- ①防災用品の定期的な点検と管理を行い、有事の際には迅速で安全な対応ができるようにする。
- ②地域の消防署の協力を得ながら年2回の防災訓練を実施する。また緊急連絡網の整備を適宜行い、防災訓練と同時期に緊急連絡の訓練を実施する。
- ③マニュアルの見直しを適時行い、災害発生時取るべき行動指針を整備し、職員一人一人に周知する。

## <各種委員会の活動方針>

### 「事故発生防止委員会」

1、介護・医療事故を防止し、且つ適切に質の高い介護・医療を提供する体制の確立

①月1回の会議及び委員長の判断による臨時会の開催

・各月の事故及びヒヤリ・ハットの収集、分析、再発防止策の検討・策定、防止策の実施・防止策実施後の定期的な評価

・事故発生防止のための備品(センサー等)の動作確認・必要数の把握と確保

②年2回「事故発生防止の為の研修」の実施

・新規採用者には、その都度「事故発生防止の為の研修」を実施

・緊急時発生の対応を周知する(応急処置・対応手順)

③外部研修への参加

・事故発生後の対応やリスクマネジメント等の研修へ参加

・外部研修参加後は施設内での伝達講習を実施する

2、必要に応じて紛争対応チームを発足する

①管理者の命を受け調査・審議し、対応策を検討すると共に実際の紛争対応を行う。紛争対応チームの調査・審議の結果、紛争対応結果については管理者に報告する

### 「身体拘束廃止委員会」

1. 施設において、身体拘束の廃止に向けて取り組む。

①不適切なケアによる身体拘束を未然に防止する。

・物理的な因子だけでなく、心理的な因子にも留意し、不適切なケアの排除をする。

(例：スピーチロック、フィジカルロック、ドラッグロック)

②緊急時、やむを得なく身体拘束を行う場合は、1～2週間の定期カンファレンスを開催し、身体拘束の解除に向け、積極的な取り組みを行う。

・ご利用者の安全の確保と尊厳を保持し、身体拘束を必要としない介護を目指す。

③施設内外の研修を通して、身体拘束廃止の理解を深め、知識の習得を図る。

・年2回「身体拘束廃止の為の研修」を実施する。

・新規採用者にはその都度「身体拘束廃止の為の研修」を実施し、施設において不必要な身体拘束を廃止する。

・外部研修(オンライン研修)への参加・施設内伝達講習を実施する。

### 「高齢者虐待防止委員会」

1. 施設内外において高齢者虐待の防止に取り組む。

①施設内においての不適切なケアによる虐待行為を防止する。

・身体的虐待・心理的虐待につながる行為を理解し、早期発見と予防に努める。

・職員のストレスの把握と緩和に努める。

②虐待発見時の対応を迅速に行う。

・施設内での職員や家族による虐待の発見

・送迎時や自宅訪問時の家族などによる虐待の発見

③施設内外の研修を通して、職員の知識の習得・虐待についての理解を深める。

・年1回「高齢者虐待防止の研修」を実施

・外部研修(オンライン研修)への参加・施設内伝達講習の実施

## 「感染対策委員会」

1. 施設内で感染しうる感染症について理解し、感染症発生の防止、感染症の拡大防止に努める。
  - ①月1回委員会を開催（必要時は臨時会議開催）。
    - ・各フロアの感染予防対策の現状を報告し、フロア毎の対策を検討していく。
    - ・施設内で感染症が発生した際の対応を把握し、職員全体に周知徹底する。
  - ②感染症が発生した場合、速やかに感染症対策を実行し、感染拡大防止に努める。
  - ③感染症の対応マニュアルを見直し、施設内の状況に合わせ随時改定を行う。
  - ④年1回感染症対策についての勉強会を実施し情報を共有する。
    - ・勉強会の内容については、勉強会後の職員のアンケート等を活用し職員の学びたい内容を把握するとともに、次回の勉強会の内容を検討する。
    - ・情報の周知を目指し、経験の少ない職員が優先的に勉強会へ参加できるようにする。

## 「褥瘡対策委員会」

1. 個々のADLと全身状態を把握し、正しいポジショニングを行うことで、褥瘡予防に努める。
  - ①月1回委員会を開催。
    - ・利用者のADLを情報共有し、より効果的なケアを実施する。
    - ・ベットマットが適切かを評価し検討する。
  - ②個別的なケアを提供するとともに、結果を評価し褥瘡を予防する。
2. 褥瘡がある新規利用者様や現在治療中の利用者様に対しては、悪化を予防し改善に務める。
  - ① ADLや食事の状態など個別的なケアを委員会で共有し、対策を考えケアを実践する。
  - ② 結果を評価し分析する。

## 「行事委員会」

1. コロナ禍にあり、いつになれば外出行事を行えるのかわからない状況ではあるが、室内でも季節を楽しむ事の出来る行事や、日常生活の中で心も体も健康に保つことの出来る行事を行う。そして施設での生活を楽しみ時には非日常を味わえるような余暇活動を充実させる。
  - ①利用者様とご家族様が交流できるような行事を行うのは厳しい状況であるので、写真等で利用者様が行事を楽しんでいる様子を少しでもご家族様に伝えられるよう工夫していく。
  - ②安全と体調に配慮し、利用者様の状態や希望に合わせた行事を企画し実施する。
  - ③地域の機関を利用し、地域交流を行うことが難しい状況ではあるが、リモート等、工夫して行えるものは実施していく。
  - ④実施した行事を評価し、改善点など明確にすることでバリエーションを豊かにする。

## 「広報委員会」

1. 広報誌やホームページを通して施設の情報発信を行い、利用者様のご家族様をはじめ地域の方や外部の多くの方々に施設の特色や活動・行事等を知っていただくことを目的とし活動する。
  - ①実施済みの行事を掲載した広報誌を3ヶ月に1回のペースで発行し、施設内での活動や様子を知っていただく。
  - ③ ホームページ上に行事や取り組みなどを掲載することにより、幅広い範囲の方へ向けて施設の情報発信を行い興味・関心を持っていただく。

### 「給食改善検討委員会」

1. 日頃の食事や行事食を充実させ、利用者様に季節感を感じていただき、食を通して日常に楽しみや刺激を与えられるよう取り組んでいく。また、各職員で連携し、普段の食事の様子、利用者様からの声をもとに話し合いを行い、食環境の整備・より良い食事の提供に努めていく。
  - ① 利用者様の嗜好や栄養に配慮し、改善が必要なこと、新たな取り組みについて話し合い、委託業者と共有し協力しながら安心安全で利用者様の声を反映した食事の提供を目指していく。
  - ② 新規利用者様の摂食状況の観察、長期利用者様の状態変化による食事形態の見直し、個人対応の実施を他職種と連携して行い、食環境の整備に努めていく。
  - ③ 利用者様の日々の刺激となるような行事食、レクリエーションに取り組んでいく。
2. 実際、検食や職員食(利用者様と同じ)を食べてみて、改善が必要なメニュー(味)又は食材について話し合い、美味しい食事を目指す。
  - ① 改善が必要なメニュー(味)は、調整をする。食材に関しては、委託業者と話し合い変更していただく。

### 「家庭介護者教室運営委員会」

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援、サービスを提供し、地域に根ざした施設づくりに繋げる。

- ① 自宅での介護における不安・悩みを共有すると共に、各種福祉の有効活用を紹介するなどし、介護者の負担軽減に役立つ教室や資料の配布を年1～2回実施する。
- ② 実施後のアンケート結果や、内容を評価し、不安なく家庭介護ができるよう質の向上に努めることで、施設の地域貢献の役割を果たす。

### 「安全衛生管理委員会」

在宅介護サービス業におけるモデル安全衛生規程をもとに、職場の安全衛生水準を見直し、管理基準を反映するとともに安全衛生管理計画書を作成し改善活動に取り組む。

- ① 福祉用具等の機器点検を定期的に行い、労働災害を防止する。
- ② メンタルヘルスケアについての理解を深め、ストレスチェック等の手法を用いながらラインケアとセルフケアの両面から精神的なケアを行うことができるようにする。
- ③ 労働安全衛生法に注視し、広く情報を発信していくとともにマニュアルを整備する。

<ショートステイ ラ・ボア・ラクテ>

## 令和3年度 給食・栄養に対する計画

※栄養に関するアドバイス・・・随時行う。

※給食委員会・・・月1回 第4月曜日

※嗜好調査・・・アンケート式調査は年2回の実施。日頃の生活の中で出た声を情報共有していく。

※残食調査・・・食事チェック表や、食事風景を参考に調べる。  
委託業者に残食を量ってもらう(3食)。

## 行事食(コロナウイルスの状況をみて実施)

4月・・・花見行事

5月・・・端午の節句、母の日行事

6月・・・ラ・ボア・ラクテ記念行事、父の日行事

7月・・・七夕、夏祭り、土用の丑の日

8月・・・お盆、流しそうめん、スイカ割り

9月・・・敬老の日、十五夜

10月・・・十三夜、バーベキュー、ハロウィン

11月・・・運動会、鍋行事

12月・・・佐藤養助商店慰問、クリスマス、餅つき、年越しそば、冬至

1月・・・正月おせち弁当、七草粥、鏡開き

2月・・・節分、バレンタイン行事

3月・・・ひな祭り、ホワイトデー行事

※四季の行事食を充実させ、丼ものや、麺、パンも献立に取り入れていく。  
マンネリ化しないよう、新メニューも考えていく。

※行事を反映させたおやつを提供やレクリエーションの実施にも取り組んでいく。

※ボア喫茶を実施し、利用者様に楽しんで頂く。

※お食事だよりを毎月発行し、ご家族様や利用者様に施設での食事を発信していく。  
季節の旬の食材を使用していることを伝える。

※寿司行事 年1回(日本給食様と話し合いながら)

※佐藤養助商店の稲庭うどん 年1回実施

## 年間行事計画

	行 事 名		行 事 名
4月	観桜会 お茶会	10月	外出行事(紅葉) 外食行事
5月	外出行事(動物園等)	11月	運動会行事 鍋行事
6月	開設記念行事	12月	クリスマス会 餅つき大会
7月	七夕祭り	1月	新年会
8月	すいか割り 流しそうめん	2月	節分行事
9月	敬老会	3月	ひな祭り



## 年間防災計画

月	内 容
4月	防災自主点検 月1回 友愛ビルサービス社による総合点検
5月	防災自主点検 月1回
6月	防災自主点検 月1回 避難訓練（夜間想定訓練）
7月	防災自主点検 月1回
8月	防災自主点検 月1回
9月	防災自主点検 月1回
10月	防災自主点検 月1回 避難訓練（日中想定訓練）
11月	防災自主点検 月1回 友愛ビルサービス社による外観点検
12月	防災自主点検 月1回
1月	防災自主点検 月1回
2月	防災自主点検 月1回
3月	防災自主点検 月1回

短期入所生活介護 ショートステイ ラ・ボア・ラクテ

「 令和3年度 年間事業計画表 」

研修・避難訓練・行事予定一覧表

研修名・場所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	新人職員研修	内部研修	福祉施設事業者等職員新任研修(第1回目)	秋田市	福祉施設事業者等職員中堅研修(第1回目)	秋田市	看護職員実務者研修	秋田市	指導者研修(組織性)第1回目	秋田市	高齢者虐待防止セミナー	秋田市	
事故発生防止・再発予防研修	内部研修												
施設の年度方針について	内部研修	食中毒発生予防・対策研修	内部研修	福祉施設事業者等職員新任研修(第2回目)	秋田市	給食担当職員研修	秋田市	施設相談援助職員研修	秋田市	福祉保健施設・事業者等職員中堅研修I(組織性)	秋田市	指導者研修II	秋田市
		介護専門職講座	秋田市			高齢者虐待防止研修	内部研修					介護記録研修	秋田市
		研修担当職員研修	秋田市	調理技術者研修	秋田市							救急救命研修	内部研修
避難訓練				避難訓練(夜間規定) (消防署協力)									
年間行事予定	観桜会 お茶会		外出行事		施設開設記念行事		七夕祭り		流しそうめん行事 すいか割り行事				敬老会

研修名・場所	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	身体拘束廃止研修	内部研修	事務職員研修	秋田市	排泄ケアセミナー	秋田市	事故発生防止研修	内部研修	介護記録研修会	秋田市	新人職員研修	内部研修
指導者研修(専門性)	秋田市		苦情解決研修会	秋田市	福祉保健施設事業者等看認職員研修	秋田市			倫理・法令遵守研修	内部研修	介護従事者講座	秋田市
感染予防対策研修	秋田市		感染症対策研修	内部研修	認知症ケア初任者研修	秋田市						
					ターミナルケア研修	内部研修						
避難訓練(昼間規定)												
年間行事予定	外出行事(紅葉) 外食行事		施設内運動会 餅行事		クリスマス会 餅つき大会		新年会		節分行事			ひな祭り

## りんごの里福寿園居宅介護支援センター

### < 実施計画 >

1. 生産性向上に資するガイドラインモデル事業における成果物の実践  
生産性向上はケアの質の向上に繋がるという意識を持ちマニュアルの活用及び経験値を可視化できる取り組みを継続し技能の平均化を図る。
2. ACPにおけるケアマネジメントの役割の実践。「望む暮らし」を支えるから「望む生き方」を支える  
人生の最終段階を支える役割を持つ介護支援専門員の必要性を理解し業務に活かせるようにする。

## りんごの里福寿園訪問介護センター

### < 実施計画 >

1. 介護保険に基づくサービスの内容を各自で熟知し、利用者の方々との信頼関係を築いていく。
2. 積極的に研修へ参加し、各自の質の向上に努める。
3. 多職種との連携を図り、情報交換をしながら、利用者の方々が安心して在宅生活を送れるように支援していく。

## りんごの里福寿園訪問リハビリセンター

### < 実施計画 >

1. 利用者の方がそれぞれご自身の“できること”を生かし、自立した在宅生活・社会参加に繋げていけるように他事業所との連携を図りながら支援をしていく。
  - ①『リハビリのためのリハビリ』ではなく、『自立した生活・社会参加につながるリハビリテーション』を目指した施術・助言に努めます。
  - ②各居宅介護支援事業所や他サービスとの情報交換・連携を密にし、生活環境の見直しや福祉用具の提案などを行います。
  - ③利用者の方の自立した生活を促し、介護支援専門員やご家族・ご本人への助言、担当者会議の中での提案を行います。
2. 指示医や主治医との連携を密にする。また、リハビリテーションの提供に関して主治医からより具体的な指示・禁忌・助言を頂きながらサービス提供に努めます。

## ラ・ボア・ラクテ居宅介護支援センター

### < 実施計画 >

1. 介護支援専門員としての知識習得と、業務の標準化・適正化と資質向上を目指す。
  - ①研修等の積極的な参加、知識習得と自己研鑽に努める。
  - ②利用者一人ひとりの能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう配慮する。
  - ③利用者の心身状況、その置かれている状況に応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業所から総合的かつ効果的に提供されるように配慮する。
  - ④利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、公正中立の確保、法令遵守に努め、適切な居宅介護支援を行う。
  - ⑤介護サービス事業所・地域包括・行政・医療機関との連携・情報交換を積極的に行なう。

# 令和3年度年間事業計画

りんごの里 福寿園 居宅介護支援センター

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.新年度 個人目標設定</li> <li>3.新人研修</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.研修:相談援助者研修[6名]</li> <li>3.研修会の開催</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.研修:介護支援専門員研修</li> <li>3.新人研修</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.研修:主任介護支援専門員更新研修</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.利用者満足度調査の実施</li> <li>3.研修講師の受託</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.検診:職員健康診断</li> <li>3.研修:介護支援専門員研修</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.研修講師の受託</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.介護情報サービスの公表準備</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.研修講師の受託</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> <li>2.新年度 個人目標設定達成状況確認</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.研修:事業所内研修(毎週1回開催)</li> </ul>

# 令和3年度 年間事業計画

りんごの里 福寿園 訪問介護センター

4月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.新年度 個人目標設定	10月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.介護情報サービスの公表準備 3.利用者満足度調査の実施
5月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.専門職介護講座(2名受講)	11月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.登録型含む検診 3.介護情報サービスの公表対象月 〔訪問介護・介護予防訪問介護〕
6月	1.研修:事業所内研修(月1回開催)	12月	1.研修:事業所内研修(月1回開催)
7月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.サービス提供責任者研修(2名) 3.現任研修(3名)	1月	1.研修:事業所内研修(月1回開催)
8月	1.研修:事業所内研修(月1回開催)	2月	1.研修:事業所内研修(月1回開催)
9月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.新年度 個人目標達成状況確認 3.介護情報サービスの公表準備	3月	1.研修:事業所内研修(月1回開催) 2.新年度 個人目標達成状況確認

# 令和3年度年間事業計画

ラ・ボア・ラクテ居宅介護支援センター

4月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 新年度個人目標設定</li> </ol>	10月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:介護支援専門員研修</li> <li>3. 検診:職員健康診断</li> </ol>
5月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:介護支援専門員研修</li> </ol>	11月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:東圏域ケアマネジャー合同研修会</li> <li>3. 介護情報サービス公表準備</li> </ol>
6月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 介護情報サービスの公表制度</li> <li>3. 研修:介護支援専門員専門Ⅰ研修(前期)</li> </ol>	12月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:秋田市地域包括全体研修会</li> <li>3. 介護情報サービスの公表準備</li> </ol>
7月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:介護支援専門員専門Ⅰ研修(後期)</li> </ol>	1月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> </ol>
8月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> </ol>	2月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 研修:介護支援専門員研修</li> </ol>
9月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 新年度個人目標設定達成状況確認</li> </ol>	3月	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修:事業所内研修(毎月1回開催)</li> <li>2. 新年度個人目標設定達成状況確認</li> <li>3. 利用者満足度調査の実施</li> </ol>

## 「りんごの里くらしのサポートセンター」

令和3年度においても、「住まい・生活支援事業」（安否確認等）を継続して行います。また、「法人で行う地域支援活動」についても継続して活動をしていきます。

### < 住まい・生活支援事業 >

横手市居住支援協議会の設立に伴い、当法人もその協議会へ参画致しました。具体的な活動については、今後協議会にて決定していく事となります。

モデル事業での活動等のノウハウを活かしつつ、各関係機関と連携・協力をしながら住まい等における困窮者に対し支援していきたいと思います。

### 「見守り・安否確認について」

生活支援の一つとして、安否確認事業を令和3年度も継続していきます。

### < 地域支援活動 >

住民主体による支援活動、つどいの和「りんりん」への緒準備や送迎などの後方支援的な活動を継続して行います。その活動を行いながら、地元地域における活動の幅を広げていきたいと考えております。

### 【主な事業内容】

- ① 専門講座等の実施（頭と体の生き生き体操など）
- ② 法人資源の活用（法人の車輛等）
- ③ ボランティア活動（地域のクリーンアップ活動等）
- ④ つどいの和「りんりん」の送迎補助など

地域の方々のご要望に合わせて地域支援活動を行うことで、地域の活性化に少しでも尽力できればと考えています。活動に際しては法人側が一方的に行うのではなく、地域の皆様と共に作り上げていきたいと考えています。